

7月22日(月)なかのZERO 大ホールで第71回東京都中学校創作ダンスコンクールが行われ、作品『ノスタルジア ゆらめきの幾時代(とき) ～中原中也「サーカス」より～』で臨み第1位(10年ぶり6回目)、また7月23日(火)駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場で第49回東京都中学校ダンス選手権大会が行われ、既成作品『カノン』で第1位(15年連続25回目)を受賞しました。

オリジナル作品『ノスタルジア ゆらめきの幾時代(とき) ～中原中也「サーカス」より～』は6月の私立大会後、都大会を目標により完成度を高めるべく、励んできました。また既成作品は『カノン』は、作品のテーマや踊り方のニュアンス、隊形の取り方を日々確認しながら、踊りこんできました。東京都創作ダンスコンクールでの優勝は10年ぶり、今後への大きな励みになっています。両大会を通じて、日ごろの練習に臨む姿勢、チームの雰囲気はもちろんのこと、各自の精神性が舞台やフロアに出してしまうことを改めて認識できたことと思います。大会を終えて自信になった面や課題、他校から受けた良い刺激等、この夏の練習に反映させていきます。(顧問)



おめでとう！中学校ダンス部

東京都中学校創作ダンスコンクール第1位・東京都中学校ダンス選手権大会第1位